

---

IDCFクラウド

---

# 活用マニュアル

～Webサイトの本番環境を構築したい（Web1台構成）～

Webサイトの本番環境を構築したい（Web1台構成）

目次

(1)仮想マシンの作成 .....	2
(2)ネットワークの設定（ファイアウォールとポートフォワードの設定） .....	5
(3)仮想マシンへのアクセス.....	7
<b>Column MyIPとは？</b> .....	10

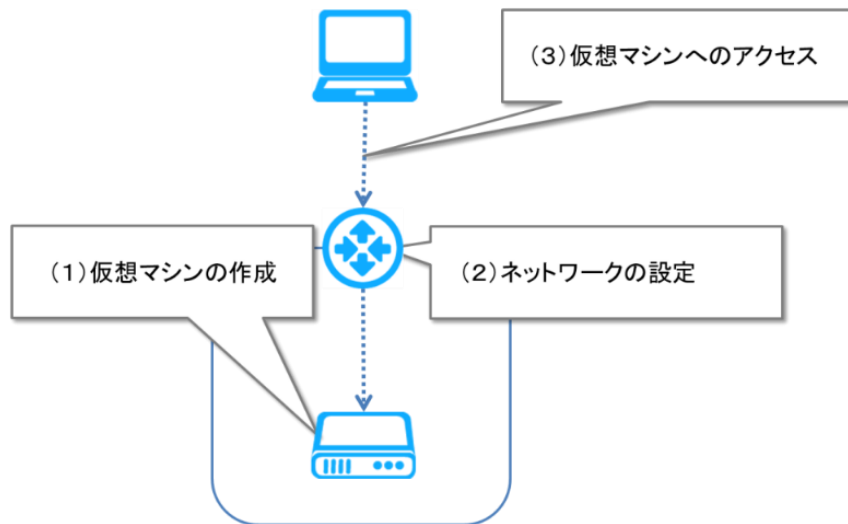


最終更新日：2015/12/10

## Webサイトの本番環境を構築したい(Web1台構成)

仮想マシン1台の構成でWebサイト (Apache+PHP) の本番環境 (プロダクション環境) を構築しましょう。仮想マシンで構築することで、静的なページだけでなく、PHPのプログラムが入った動的なページも公開できます。

監修：IDCFフロンティア 藤城拓哉



### (1)仮想マシンの作成

- ①クラウドコンソールから「仮想マシン作成」をクリックします。



- ②「仮想マシン作成」画面で、作成する仮想マシンのスペックを選択します。

項目	設定内容	
マシンタイプ	Light.S1	
イメージ (テンプレート)	その他—AppTemplate CentOS 6.5 64bit	
ボリューム	追加ディスクなし	
SSH Key	※注1	
仮想マシン台数	1台	
ネットワークインターフェース	※注2	
詳細情報	マシン名	Web01
	グループ	(なし)

IDCF Cloud 東日本リージョン > コンピューティング
サポート

仮想マシン作成

- 仮想マシン
- IPアドレス
- ボリューム
- スナップショット
- テンプレート
- ISO
- ネットワーク
- SSH Key
- 操作ログ
- リソースリミット
- API
- ゾーン管理

## 仮想マシン作成 めっちゃ楽ガイド

### マシンタイプ

Light	Standard	High CPU	High Memory	High IO
light.S1 1 CPU x 0.8 GHz 1 GB RAM ¥200/月 (¥0.4/時)	light.S2 1 CPU x 0.8 GHz 2 GB RAM ¥3,200/月 (¥6.6/時)			

¥ 概算料金 (税込)  
 ¥500 / 月

### イメージ

おすすめ Template	My Template	ISO	その他
VyOS 1.1.3 64-bit			CoreOS (stable) 494.4.0 64-bit
CentOS 7.1 64-bit for Vagrant			CentOS 7.0 64-bit for Vagrant
CentOS 6.6 64-bit for Vagrant			CentOS 6.5 64-bit for Vagrant
AppTemplate CentOS 6.5 64-bit			

### ボリューム

	サイズ	料金 (¥20/GB)
ルートディスク	15 GB	¥300 30日概算
データディスク (High I/O)	<input type="text" value=""/>	¥0 30日概算

### SSH Key

SSH Key 選択
作成
アップロード
なし

選択して下さい

### 仮想マシン台数

1 台

### ネットワークインターフェース

pascal ゾーン

ネットワーク名	CIDR
<input checked="" type="checkbox"/> pascal-network1	10.6.0.0/22

※注1

※注2

※注1：SSH Keyの項目は、SSH秘密鍵を未作成の場合は「作成」を選択し、生成された秘密鍵をローカルPCに保存します。詳しくは「めっちゃ楽ガイド」6ページの手順3をご参照ください。

※注2：ご利用のアカウントによってネットワークインターフェースとして選択できるゾーン名が異なります。普段お使いのゾーン名をご選択ください。

③スペックを指定後、画面下部の「確認画面へ」をクリックします。



④確認画面でスペックを確認し、画面下部の「作成」をクリックします。



⑤クラウドコンソールに「web01」の仮想マシンが追加されます。



## (2)ネットワークの設定 (ファイアウォールとポートフォワードの設定)

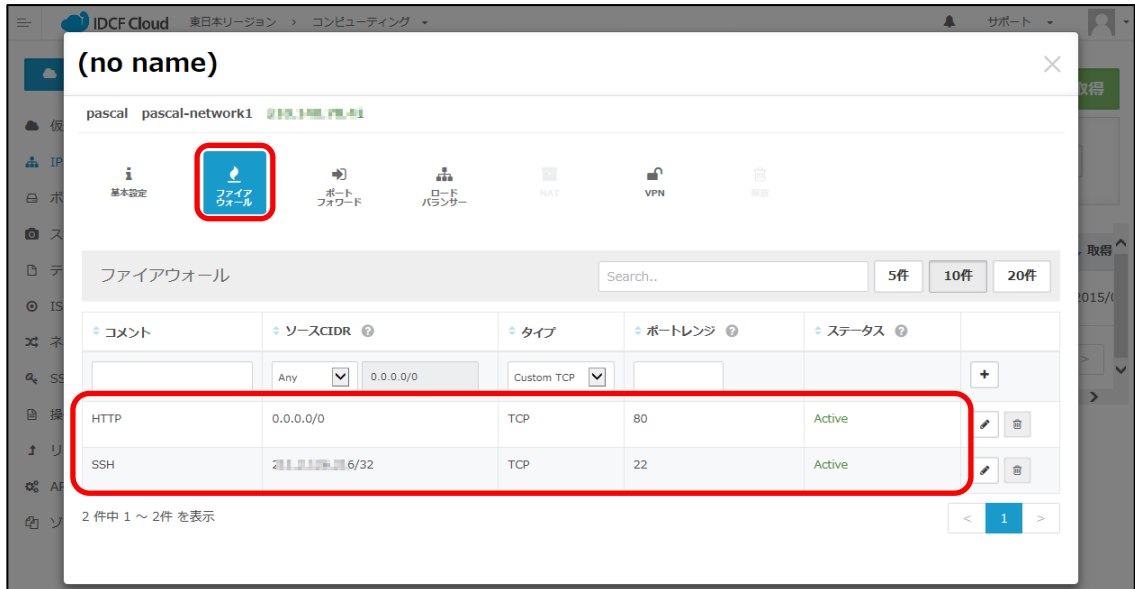
①「IPアドレス」画面で、表示されているIPアドレス名をクリックします。



②IPアドレスの設定画面で、[ファイアウォール] を選択し、SSH用とHTTP用のポートを設定します。

1行ごとに指定して [ + ] をクリックすると、指定したポートが追加されます。「ソースCIDR」の欄はプルダウンメニューから項目を選択すると自動的にIPアドレスが表示されます。また「タイプ」の欄で公開したいサービス名を指定すると、対応するポート番号が自動的にセットされ、タイプは「TCP」となります。

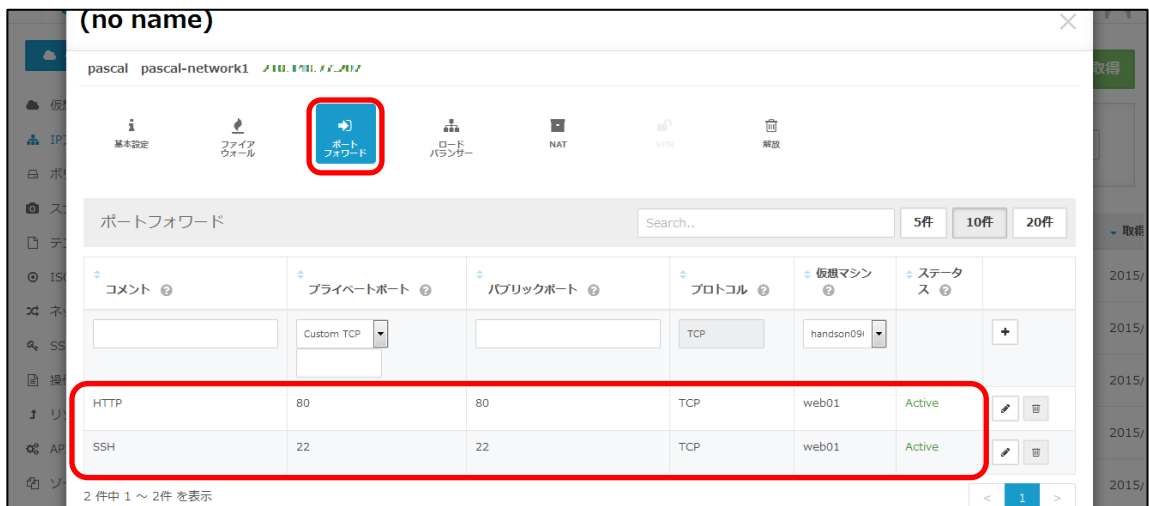
コメント	ソースCIDR	タイプ	ポートレンジ
HTTP	Any	HTTP	80
SSH	My IP	SSH	22



④続いてポートフォワードの設定をします。

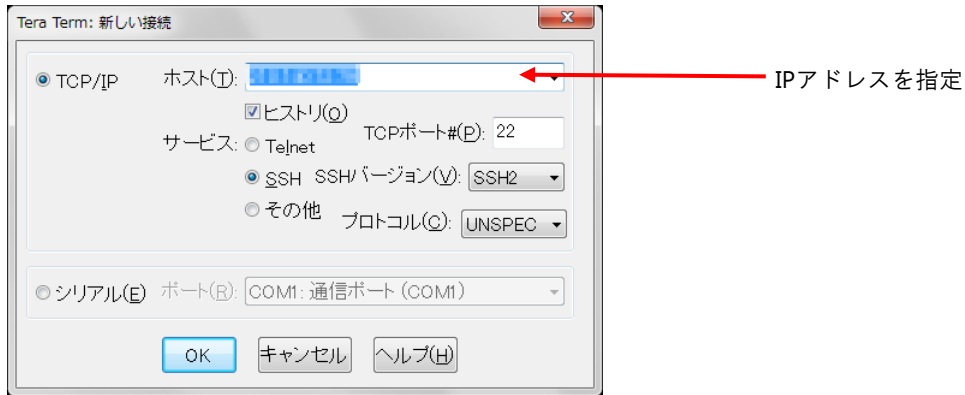
[ポートフォワード] を選択し、以下のようにSSHのポートを指定して [+] をクリックします。

コメント	プライベートポート	パブリックポート	プロトコル	仮想マシン
HTTP	HTTP	80	TCP	web01
SSH	SSH	22	TCP	web01

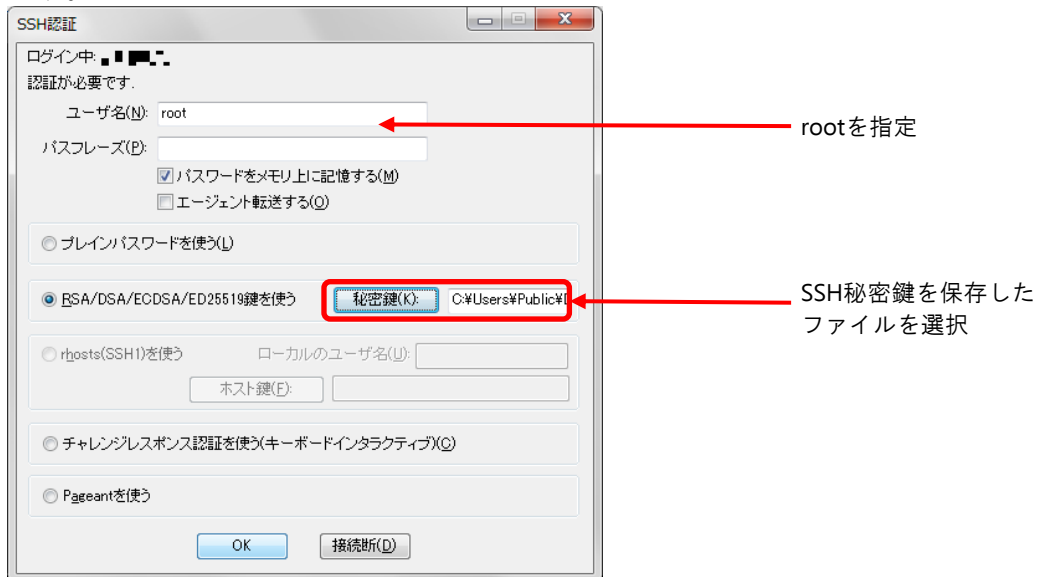


### (3)仮想マシンへのアクセス

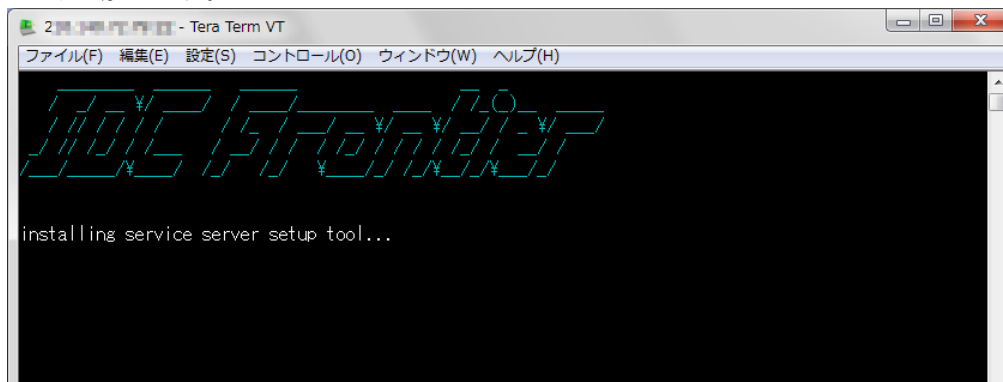
- ①ターミナルソフトを起動し、手順(2)で設定したIPアドレスを指定してアクセスします。  
ここでは、TeraTermを例にご説明します。



- ②ユーザー名に「root」を指定し、あらかじめ設定してあるSSH Keyを参照してログインします。



- ③AppTemplateには各種アプリケーションが組み込まれているため、アクセスするとインストーラーが起動します。



- ④カテゴリ選択メニューで「ウェブサーバー」を選択し<OK>を選択します。



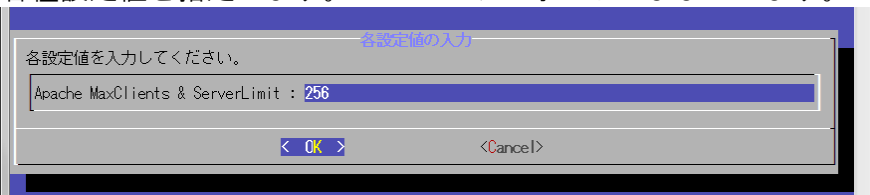
- ⑤プロダクトを選択します。ここでは「Apache (LAMP)」を選択して<OK>を選択します。



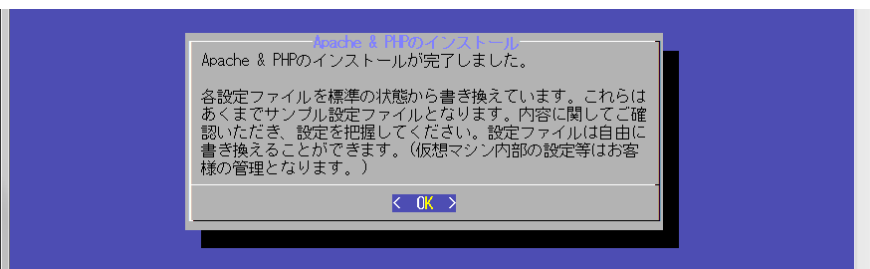
- ⑥セットアップ種類を選択します。ここでは「Apache & PHP」を選択して<OK>を選択します。



- ⑦各種設定値を指定します。ここではデフォルトのままとします。

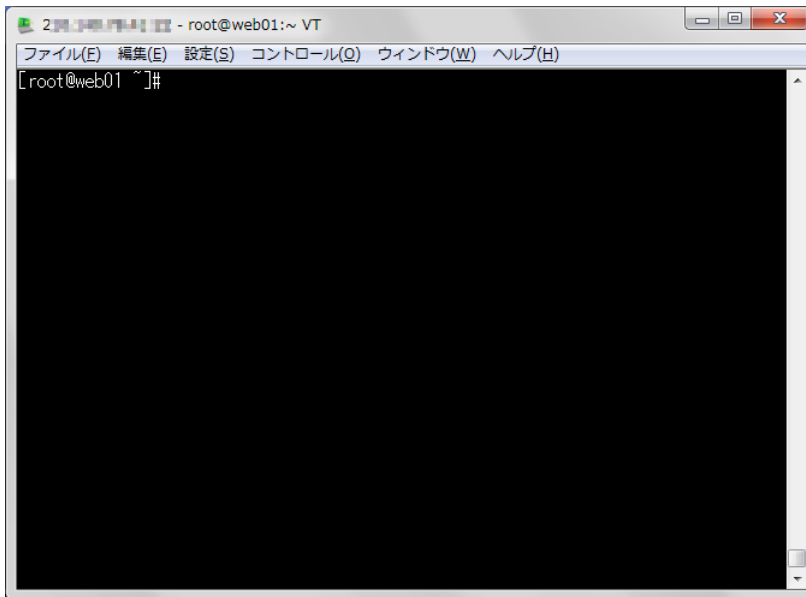


- ⑧インストール&セットアップが始まり、終了すると以下の画面になります。

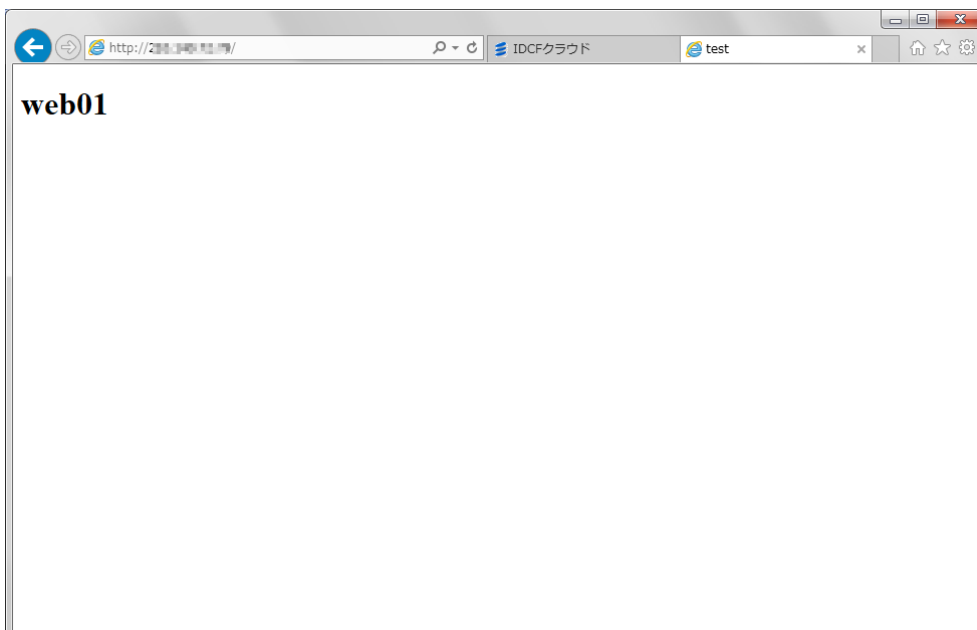




⑨<OK>を選択するとインストーラーが終了し、通常のターミナル画面に戻ります。



以上でwebサーバーの稼働が始まりました。手順(2)で設定したIPアドレスをブラウザで確認すると、Apacheの画面が表示されます。



## Column MyIPとは？

「Webサイトの本番環境を構築したい (Web1台構成)」の(2)において、ファイアウォールに設定した「MyIP」とは何でしょうか？これはIDCFクラウド独自の機能で、現在操作をしている端末のパブリックIPが自動的に指定される便利な機能です。

初期状態では、セキュリティ上の配慮からファイアウォールですべてのアクセスを遮断する設定となっているため、アクセスするパブリックIPを許可する必要があります。例えば、Webを公開する際は、閲覧に必要なhttpなどは「Any」を設定しすべてのパブリックIPを許可します。一方、サーバーにログインするためのSSHは、アクセスする必要最小限のパブリックIPに限定して許可します。

複数のパブリックIPからアクセスする場合は、いずれのパブリックIPも許可設定するようにしてください。例えば、会社でサーバーを構築し、自宅で障害対応をする可能性がある場合は、予め自宅のパブリックIPも許可しておくくとスムーズです。

